



## やる気の源は 挑戦できる、 この環境。

金岡保育所(保育士)  
種市純美  
入庁3年目  
座右の銘は「子供も楽しく自分も楽しく」



「私の元気の源は、「あやみせんせい」と駆け寄ってきてくれる子供たちの笑顔です」と教えてくれたのは、金岡保育所の人気者、種市保育士。いつかやってみたいと思っていた「しんぐんしのプール」を实践したのは、保育士として働き始めて1年経った頃。「子供たちが大興奮で、いつもの何倍も笑顔になってくれて嬉しかったんです。ただ、興奮しすぎてその後のお昼寝に手間取っちゃいました」と笑います。プライベートでも仲良しの保育士仲間との「もっといい保育に挑戦し続けよう」という合言葉で、毎日新しいことに取り組んでいます。

## 部署も年齢も垣根なし。 一緒にやると、 仕事もジョギングも前進する。



地域自治課主事(一般事務)  
後藤慎治  
入庁3年目  
座右の銘は「背は高く腰は低く」

「隣の部署にいた望月先輩は、僕が話のネタにしている自分の背のデカさを、うま〜いジツってくれるんです」と汗をぬぐう後藤主事。部署が違っても業務を通じて仲良くなって、今では昼休みにジョギング仲間としても交流を深めているそうです。入庁して配属されたのは、多文化共生や国際交流等に取り組む地域自治課。配属当初は英語も苦手だし、「こと不安だったのですが、望月副主任のアドバイスやノリのいい上司や先輩を助けて「まずは笑顔でデモンストラッシュ」を心がけています」。



## 風通しのよさは、 職場の一番の自慢です。



資産活用課係長(一般事務)  
稲葉宏和 入庁30年目  
座右の銘は「雄大な心」  
伊東純 入庁7年目  
座右の銘は「二期一会」

「電気の状況に異常はありません」と話しながら、市役所庁舎内の受電盤を確認しているのは、資産活用課の稲葉係長と伊東技師。庁舎内の設備を手エックし、訪れる市民や働く職員の手を安全に守りながら、みんなが快適に過ごせるよう常に気を配ります。稲葉係長が率いる係には2人の技師がいて、「電気の分野においては伊東

さんが私の先生ですね」と話します。入庁してから2つ目の部署だという伊東技師は、「前の部署でもそうでしたが、周りの人たちはみんな気さくで明るいですよ。稲葉係長は面白いことを言ってみんなを笑わせてくれます。職場の雰囲気がいいので自分の意見も言いやすく、毎日が楽しいです」と満面の笑みで話してくれました。

## 仕事も、暮らしも。 どちらも 大切にしたい。



「去年より数値がよくなりましたね」とこやかに話すのは、保健師歴18年の徳永主任。市民の皆さんの健診結果を元に、食事・運動のアドバイスをしています。2児の母でもあり仕事に家庭にと大忙しの徳永主任は、業務内容や休暇など、仲間同士で調整や助け合いをしているといいます。

「おかげで普段の暮らしはもちろんです。子供の行事や長期休暇でリフレッシュなど、自分なりのライフスタイルを作られています。時差出勤や時短で働ける制度があることも、多様な働き方に繋がっています」と笑顔で話します。休日はアウトドアにはまっているといい「今年は家族でキャンプに挑戦してみたいです」と教えてくれました。

健康づくり課主任(保健師)  
徳永有紀  
入庁18年目  
座右の銘は「思い立ったが吉日」

